

1987.8.31発行

郵便振替 小樽1-570 加入者名 あごら不規

No 103

あごら不規連絡先
糸田英理子
tel 644-2927

今月通信担当
オギ/京子

* 今日のトピック *

合宿報告 …… 1.2	映画と観て …… 6.7
青不況講演会 …… 3	例会案内 …… 3
公用機器参加記 …… 4	情報 …… 8
消費生活講座より …… 5	

8月の合宿は「性の思い込み」というテーマで進められた。あごら不規が本誌の“月刊あごら10月号”の編集担当になつてあり、その会議と合同した次第。

フェミニストを自認する会員も、これと「性」に関しては余りオープンに語り合つたことはない。今回のようにまる2日、徹夜に近い状況でたっぷり時間をかけて話したこと、自他共にいかに思い込み、すり込みが多いか得心がいた。どう考えても「性」は男女主導権を握ってきている。オープンにされにくいついうこともありますけれど、女の立場からの発言はまだまだ表面に出できていない、話かすすむと共にどういう「性」を達ぶかはま



8月 合宿 報告

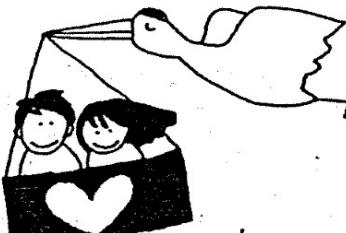
とにかく
う生き方を
達ぶのか
に匹敵す

すこと、又、「性」の問題を抜きにして人間の解放は語れないことなど、自らの性を語りあうこと、いかに思い込み=とりわけいたかに気づいていたわけではなかと鬼う。ふだんの会話の中で「性」について語りあっていけば場をつくることも大切なことではないかという意見も出、秋のけはいも感じられる2日間実り多い合宿であった。(谷)

これから

“月刊あごら”編集会議 - 性について -

- ・9月6日(日) 2:00 ~
- ・9月13日(日) 4:00 ~ 細田宅
多数参加を!



合宿に参加して

(タカハシヨシエ)

これまで数回のあこら札幌の合宿に参加しているが、性についてこれまでオーブンに話し合ったのは始めてではないかと思う。

性について語れると→なぜ? 耻じかしいから。→なぜ 耻じかしいの?

なぜ 耻じかしいのかを問うことに、文句なしに 耻じかいこととして話題にするのを避けてきたように思う。

耻じかく思ふと、それは次の人の思ひみだり。

社会からの"おこみ"で思ひこまれてきたものだからでははないか。

私は中1の時、母に「セイコウは何のこと?」と聞く。「そんなと子供が知らなくていいの!」と拒絕され以来、性に関する興味を封じ込めてきた。女の子は知りたいけどないこと、として。ごくごく一般的に育てられた私は、自分の体の外見的変化(胸のほくらみTTS)にすら注目することなく、気がつく時には必ず胸のほくらみを隠していたようであつた。

合宿では、恥と感する感覚方に2通りある、というのか。

ともおもろかった。上記のように何か知るか自体か、恥じかい、というのと、もう一步進んだ形で、自分の生3方自体が恥じかい、ということ。これは、男に従属して生活の中で、看り下しに表れるのが自分の場面で、肉体も魂も壳り渡して生きる生き方か恥じか、というもの。しかし、ここは自尊心がせきりまつぶし、自尊心が、次の一歩から引き出せばだらう、というふうにあって。もうひとつ、ストンと胸に落ちる言葉。

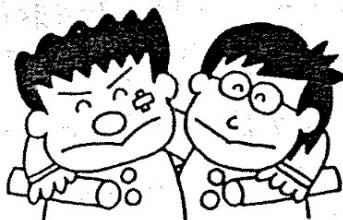
高校生は実際性教育について立場から、「女子は自分の体を大切に! 男子は自分の体を大切に!」と教えない。君足りないところは

月刊あこら10月号を乞御期待!!

「学校って、どんなところ?！」

青木悦氏 講演会に

8月1日 朝午前5時30分我家を
スタート 江別から望来を抜けひたすら
海岸線を稚内に向かう。曇空もだん
だんと晴れ秦晴いドライブが和である。
途中朝食に帆立ラーメンを食べて12時
30分 稚内着 早速南稚内駅前の海
員会館に出掛けた。Yさんは疲れも
なんのその受け付けを手伝っている。
若さの輝いてはうか。私は青木悦さん
の本をかいチャッカリサインをしてもらい
講演前にチラチラと読む、横浜



「浮浪者」襲
撃事件を追及
てやっと見えて
きた子どもたち。

という本である。

静かな語りで講演が始まる。私崩
の50代の婦人がコクリコクリと眠
っている。ドライブの疲れが出て私もハ
鈎られて眼くなってしまう。必死に堪
えて話を聞く。学校のいじめについての
実例が出される。いやな子の座った椅子
には他の子は座らないといった徹
底した排除が行われているという。
いじめられる子供達の心理状態に触
れる。生きていくくないという気持ちに
差し込む「いじめる側は何に
原因しているのだろうか。青木悦さん

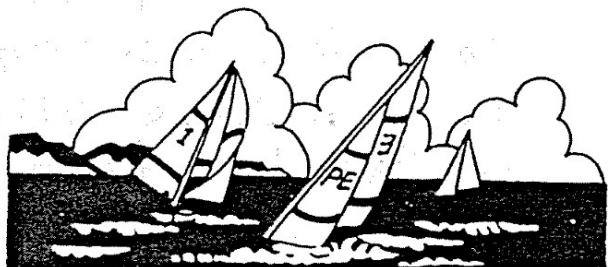
出席して



は、一層の管
理強化が子どもを殺すと言っている。
子供たちの心を変化させていかないと。
これからもいじめは続くであろうし、被害
者はなくなるまいという。

子供たちとの触れ合うとの多い仕事
なので考えさせられる講演でした。

私の最果ての二人の女が子供たちの
未来を考え講演会を開いたことに拍
手を贈りたい。 柊 京子



性 月刊あづら編集会議

例会にかえ、9月13日(日)
午後4時より、編集会議を
行います。

やること多數あり。

乙、御参加!

於：細田宅

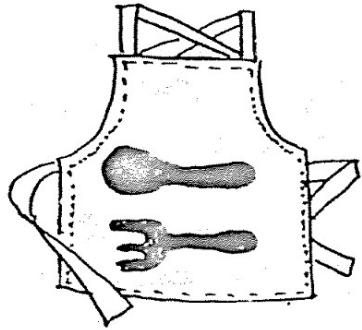
琴似1-6アラナ

ハイツ 琴似408

tel 644-2927

9月

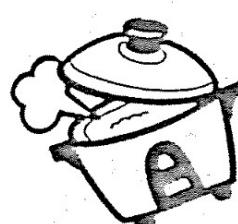
例会
案内



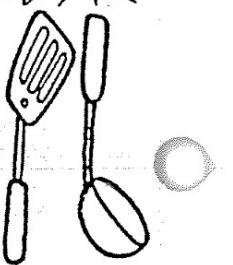
“男の家庭科教師” 名取弘先生「公開授業」 参加記!!

七谷 瑞子

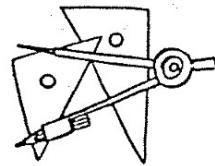
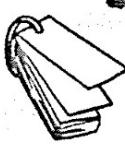
家庭科教師名取先生は、エスニック+麻辣しゃうへいの布をターバンにして、子供が書いたと思われる絵付のフロニキをマントにストール+パンツ+ハーマンよろしく、華々しく登場!! やさしく流れるような口調で、カエルのカレライス料理実習講座が始まった。私は、小2の息子と2人で出席
ニホンから何のまじまうとしているか、息子は不思議そうな目をして先生の言う事をしてから聞いていたが、自分が包丁を持てモミが切れ子というのをかかってか興味津々、エプロンをして長ネギをそんそ生まれて初めて切る。親子2人とも泣きのでは…とハラハラして、3回に本人は自分でレシピを考案。ナベで玉ねぎを炒めた!! きゅうりの塩もみをこねるうちにすり身入り込んでしまった様だった。これは、親の手、TENの個人的意見であるが、確かに同じように作業をしている子供達を見ていて、せのるは一生に1回もアヒントをやらされていない感じで、なぜかげほげほしながら見えてるのに隠し男の子が料理を作っているのは、ひどいも専らこうに感じられ少し複雑な心境だった。とにかくカエルのカレーが出来上がり、「アヒト」にせ、カエルの肉 カレイ、ホーチ いか 長ネギ etc ……入るカレーダン、TENので…味の方はまことに極まりなく珍味!?で、私と息子は正直、2食せずかっこつてある。家に帰ってからすり身入り言葉を付けて息子は、台所で立って野菜やらを、やたら切りながら、「お母さん料理ってせのんかするんじやないの?」「せのんかするとは決めてないがんばる本当は」「フーン」「あんたも結婚する気があるから料理や洗たくが出来たままでね」とおこうせといふくらせす、んてめうね」「お父さんも?」ここで私はしばし絶句!!……結果きゅうりの漬物を作った。



名取先生通称ナトセーは、いかゆる教員然としておらず、ごくごく自然の形で子供達の中に入り込み、親をもひき込んで何かを与えてくる。子供の見えない力を掏出していく先生という印象だった。こんな先生の「我らの学校」も、ひいていって、ヤレ「体罰」TEN「いじめ」TEN+などといふ次元の他、問題は起りつけよう、おれはすかと思わず、1=1はいらねとい。



消費生活講座に出席して



子どもがやらぬれでいる

契約社会にひそむ黒いワナ

最近の消費相談でふえてきているのが、契約に関するこだ“そうだ”。中でも、20代前後の若い人が被害者となる問題では、それに近い子を持つ私は、とてもひと事とは言ってられない、と思った。



クレジット及びカードにまつわるこゆい言語

- 大学生の時にクレジット購入の返済のけつさを起こしたヒヨ。ブランドクリストにのり、卒業後、銀行からの借り入れもできなくなっていた。
2. 子どもが父親のカードを持って家出。カードで物を買ったりはそれを売って生活費にあてていたので、父親は、とにかくひえ返済に追いついていた。
3. 暴力団カードを20~30万円で買上げる。そこで反対にカードを作らせ、それを譲り受けた。暴力団に売つて行く大学生がいる。カードは各地を飛び回り、跡をつけることが不可能になる。かくて、卒業の時にはすでに破産状態。



キャッシュ・セールス・アポイント・セールス

街で若者にアンケート調査を兼ねて声をかけ、事務所につれ込んで高価な英語教材や化粧品を売つて行くのか、キャッシュ・セールス。

○ 電話でアポイントを工場に事務所に呼びつけるのか、アポイント・セールス

事務所には、こゆいおじさんかい何人もいて契約しないと帰してくれない。男の子にはせかし、女の子には男かやさしく声をかけ、かとした心のすき間につけ込むとのこと。泣き落としや、おとしへ売つけていくといふ。



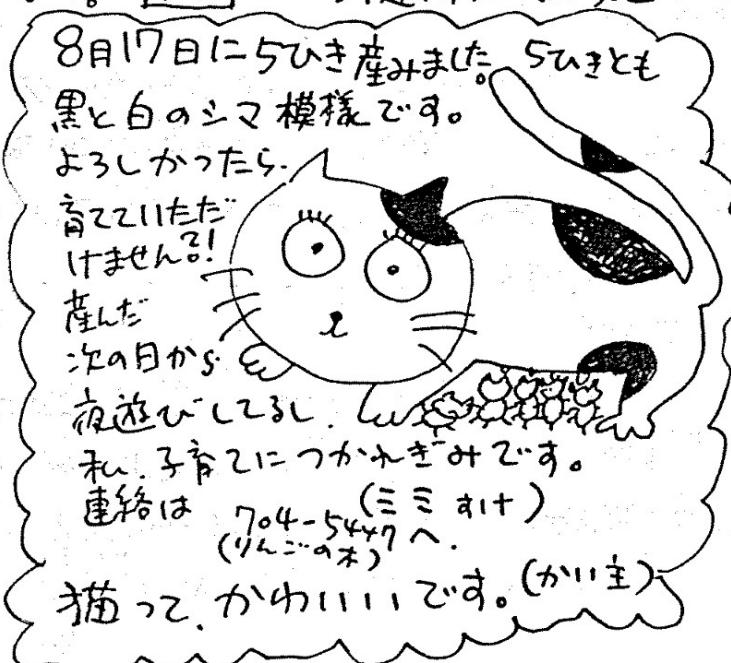
聞かないと、腹が立つるほど。子ども達の考え方が甘い。自分の自立をあほつかないといつうのに、セールスマニから復讐想になつて買ってみたり、反対に泣きつかれてカードを貸してみたり。子ども達には、精神的、経済的自立をしつぶ教えていかねばと思った。そのためには、他人の生き方の甘さが見えてくるはずだから。

松平

＜シネマ感想文＞

いやなもん見てしまった

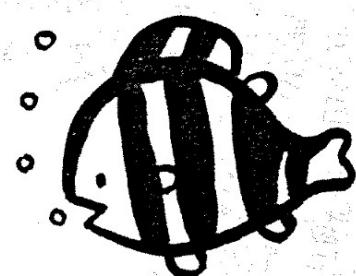
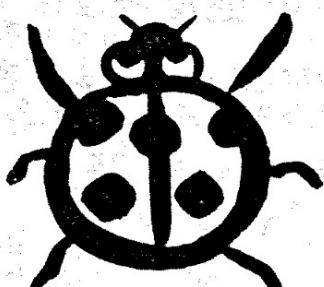
「トリムシ・サカナの子守歌・生物みなトモダチ」という映画を見て、期待にあまりにも反していたので、頭にきてしまった。夏休み中の自主上映だし、タイトルからして動物・鳥・魚・虫が画面いっぱいに、これでもかってくらい出演して、企業利益優先の人間にによる自然破壊を告発する映画だと思っていた。ところが、鳥・虫・魚はほとんど出なくて、都会や村の生活とか人間のそ二が要い、そこが要いと教えてくれて、自分の立場性を疑いもしないお説教映画でした。まともな事を言つても、それが全部ブッ飛ぶ程犯罪的なシーンが連続して困ってしまった。紙面の都合上、ひとつだけ例をあげたい。小町グモの子育てシーンなんか、優生保護法改悪推進団体の「生長の家」そのもののナレーション。少し間違いかあるかもしれないけれど簡単に画面をひろっていいくと、**画面**…敵から守りながら200個もの卵をかかえた母グモ。**ナレーション**(以下ナレに略)…「彼女のマジな態度には頭がさがる。**画面**…子返しを戒めた絵馬。子がえしをしていろ女の本当の顔が鬼だ、ついでやつ。**ナレ**…「封建時代の間引きは、まだわかるが、飢食時代の現在なぜ墮胎がなくなるのか」。**画面**…水子地蔵をおまりりする女。ピンク雑誌。



の世界だ。まだまだ綻く。 [画面] ……自分の体液を子グモに吸わせて死んでゆき、ミイラ化した母グモの姿。ナレ……「聖母のとき、クモの母親」と、言い切った。[ナレ] ……「人間の母親も種の保存の役割を基本的な営みとして生き抜いている以上、もともと、鬼でも夜叉でもない」 [画面] ……又、水子寺で探す。[ナレ] ……「人間の母親も、また聖母だった！」と、きたもんだ。都合のいいように、勝手に感情移入されてあつかられた小町グモニといいめいわれたがう。

女が、ひとりひとり毎日、泣きも笑いも考えもする生きもの、これを知らないんじやないか！ 権力は「母性愛」を押しつけたうえで、女の子産み子育てをコントロールしててきた。子産み機械として戦争に協力させた事もある。今は、優生思想を押しつけての墮胎で、「有能」な労働力確保に協力させようとする。とにかくイヤなのは、私たちの体いっぱいの愛が「母性愛」にのみくくられていいくことだ。いさんな女たちの生や愛があつて当然だし、産む・産まないは、人からとやかく言われる事じゃない、て、画面にあがってさけびとうになった。

きれいな自然をうつした画面をあつたし、3時間以上、いささか時代がかった調子のお説教(ナレーション)を開いてみると、白川の黒くなり、ボーとしうだつた。「メルヘンタッテのいい映画なんですね、この」とあとから人に聞かれて、鳥っこしまつた。小町グモのツーンしか書けなかつたけど、この映画のやりしさは伝わると思う。見なかつた人は、これから先見なくていいからね！ 見てしまつた人は、しっかりこの映画を批判していいこうね。(昔、田舎の映画少女だったひかりが云ふ)

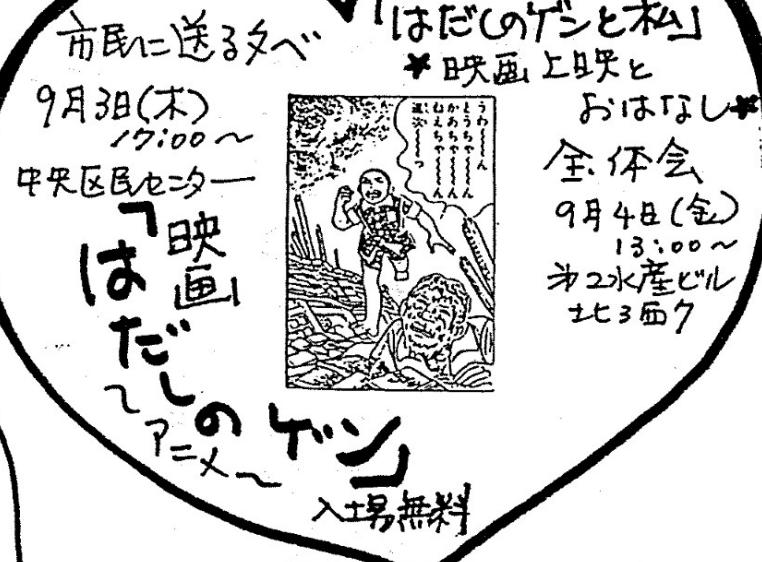


情報



西のアーティスト

報



生活 働くために

とき 10月9日(金)午後6時
ところ 不久里町民会館5号会場
不く里10月ユーナン(3月)



9月5日(土)
中央区民センター
PM 6:30~

映画「ホビの予言」試写会
監督の宮田雪さんとイニテ・アンの
バビさんを囲んで交流します。

ウラン鉱脈をめぐる原爆と国内で
作ろうと言うアメリカ政府は、イニテ・アン
連を強制移住させようとしています。
映画では、イニテ・アンの被爆の実態

と民族差別の
問題をとりあげ
ています。

11月5日の本番に
下さる人を
たくさん来て
たまえの人を
よかつた人には
映画を見て
よかったです。

—報告 采年の3月孫誕生—

ミック!!
おぎの京子

